



## JICA・SATREPS プロジェクトでの研究成果発表

### HIV 薬剤耐性ウイルス対応のためのナレッジブックを出版

2024年3月1日

国際協力機構（JICA）ベトナム事務所

2024年3月1日、JICA・SATREPS<sup>1</sup>「ベトナムにおける治療成功維持のための“bench-to-bedside system”構築と新規 HIV-1 感染阻止プロジェクト（以下「プロジェクト」）」は、ベトナム国ハノイ市 Du Parc ホテルにおいて、本プロジェクトで編纂した「HIV Drug Resistance Knowledge Book（以下「ナレッジブック」）」完成を記念し、その内容の関係者への普及のため、セミナーを行いました。

本プロジェクトでは、HIV 治療成功率を高く維持するためには、薬剤耐性ウイルスのモニタリングと、それが発生した際の臨床現場での対応が非常に重要であるという問題意識のもと、各種研究活動や研修活動を行ってきました。研究成果と研修内容など、日本とベトナムの専門家とともに議論して築いた知見を、今回ナレッジブックという形で冊子にまとめました。冊子は 1,000 部発行、全国の HIV/エイズ治療施設などに配布され、電子版は、ベトナム保健省 HIV/エイズ予防局（VAAC）のウェブサイトに掲載される予定です。ベトナムの医療従事者が必要な知識と実践的なスキルを習得するのに役立つことを願っています。ベトナムにおいて HIV 薬剤耐性ウイルスに関する対応ガイドラインはまだ作られておらず、今後このナレッジブックがその基礎となることが期待されています。

また同日午後にはプロジェクトにおいて実施した各種研究活動の成果が発表され、ベトナム側政府関係者、そして国際的な開発パートナーなど多くの機関にその成果が共有されました。午前・午後を通じ、ベトナム保健省 HIV/エイズ予防局（VAAC）ファム・ドック・マイン副局長、国立熱帯病病院（NHTD）ファム・ゴック・タック院長他多くのベトナム側関係者、更に日本側では在ベトナム日本国大使館佐々木祥平等書記官や多くの JICA 関係者が参加しました。セミナーの席上で JICA ベトナム事務所・平岡久和次長は「本プロジェクトの関係者の多大な貢献に対し感謝の意を表するとともにナレッジブックやプロジェクトの研究結果の政策への活用を期待しております」と述べました。

現在実施中の JICA・SATREPS「ベトナムにおける治療成功維持のための“bench-to-bedside system”構築と新規 HIV-1 感染阻止プロジェクト」は、ベトナムのパートナーである NHTD、保健省 VAAC、ハノイ医科大学の専門家と共に、抗レトロウイルス薬治療のモニタリング、予防策として普及が進む PrEP（曝露前予防内服）の効果検証、HIV ワクチン開発への基礎を築く特殊な免疫反応の解析などを行ってきました。2024年4月初旬で5年間に渡るプロジェクト活動終了を迎える中、その総括として今回セミナーで多くの関係者と結果を共有し、意見交換を行い、また成果としてのナレッジブックを完成させることができました。

また、この機会に併せ、本プロジェクトの共同研究機関である国立国際医療研究センター（NCGM）エイズ治療・研究開発センター（ACC）は SATREPS プロジェクト終了後に実施予定の HIV と B 型、C 型肝炎との重複感染に関する研究についても、その構想を発表しました。



これまでの長きにわたる NCGM・ACC とベトナムとの協力は、更に続いていくことが期待されます。

---

お問い合わせ： JICA ベトナム事務所 広報班 関 里緒菜

Tel: (+84-24) 3831 5005(内線 137) E-mail: [Seki-Riona@jica.go.jp](mailto:Seki-Riona@jica.go.jp)

---

<sup>i</sup> SATREPS（地球規模課題対応国際科学技術協力）：感染症対策分野においては、日本医療研究開発機構（AMED）と JICA が共同で実施する、地球規模課題の解決のために日本と現地での研究者との共同研究を通じて行われる技術協力。